

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP-P1-16
研究課題名	原爆被爆者の放射線関連甲状腺乳頭癌に関するゲノム解析の試行調査
研究責任者（所属）	小笹晃太郎（放射線影響研究所）
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的：手術により切除された後、パラフィンブロックとして長期間保存された甲状腺乳頭癌の試料を用いて、がん細胞に生じた体細胞変異の調査を行います。本研究は、放射線被曝による発がん過程を明らかにするための準備調査です。</p> <p>利用方法：広島市内の 3 病院より借用した甲状腺乳頭癌の試料より抽出した DNA および RNA の塩基配列を調べることが可能か否か、可能な場合にはがん細胞に生じた突然変異を調べることができるか調査します。情報および試料は病院から提供される前に氏名等の情報を除去します。</p>
他の機関への提供の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有（提供先機関：国立研究開発法人理化学研究所、国立病院機構長崎医療センター）上記 3 病院で氏名等の情報を除去した情報および試料を提供します。（提供先機関：米国国立がん研究所）氏名等の情報を除去した情報のみ提供します。なお、解析結果を投稿する雑誌の要請により、個別の結果データを雑誌社またはデータ登録機構に提供する場合があります。</p> <p><input type="checkbox"/>無</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<p>試料：病理組織スライド標本、抽出された DNA および RNA</p> <p>情報：性、診断年、診断時年齢、および組織学的診断</p>
利用する者の範囲	<p>放射線影響研究所</p> <p style="padding-left: 20px;">小笹晃太郎</p> <p style="padding-left: 20px;">林 奉権</p> <p style="padding-left: 20px;">疫学部病理学研究室の担当職員</p> <p>国立研究開発法人理化学研究所</p> <p style="padding-left: 20px;">中川英刀</p> <p>国立病院機構長崎医療センター</p> <p style="padding-left: 20px;">伊東正博</p> <p>米国国立がん研究所</p> <p style="padding-left: 20px;">馬淵清彦</p> <p style="padding-left: 20px;">イエーガー・メレディス</p> <p style="padding-left: 20px;">ブレナー・アリーナ</p> <p style="padding-left: 20px;">エイミー・ベリントン・デ・ゴンザレス</p>

	チャノック・スティーブン
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	小笹晃太郎（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131</p>